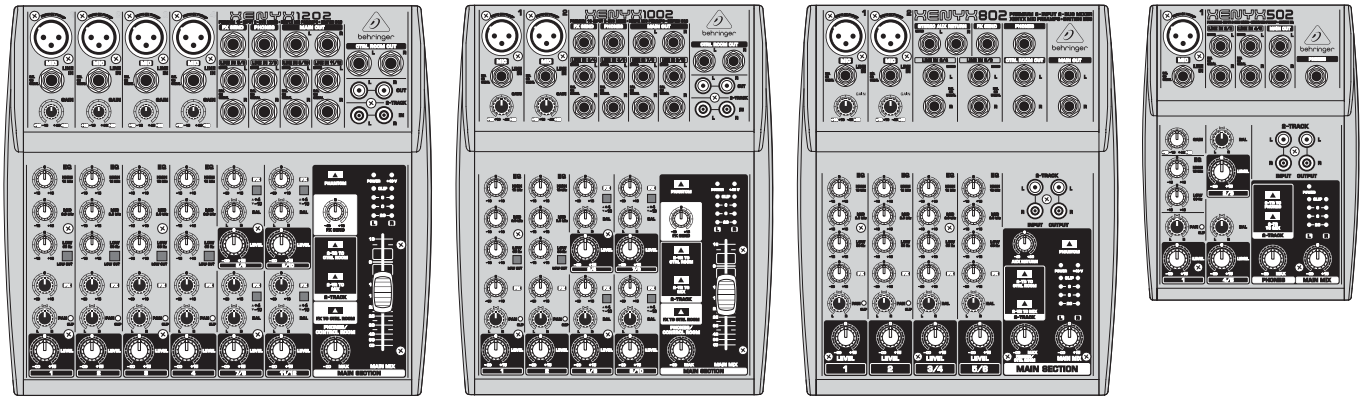
クイックスタートガイド

JP



XENYX 1202/1002/802/502

Premium 12/10/8/5-Input 2-Bus Mixer with XENYX Mic Preamps and British EQs

V 7.0

behringer

JP

JP 安全にお使いいただくために

注意
感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル（¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル）を使用してください。

注意
火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意
このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意
取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。

2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。

4. 指示に従ってください。

5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ(三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。

12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。

17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

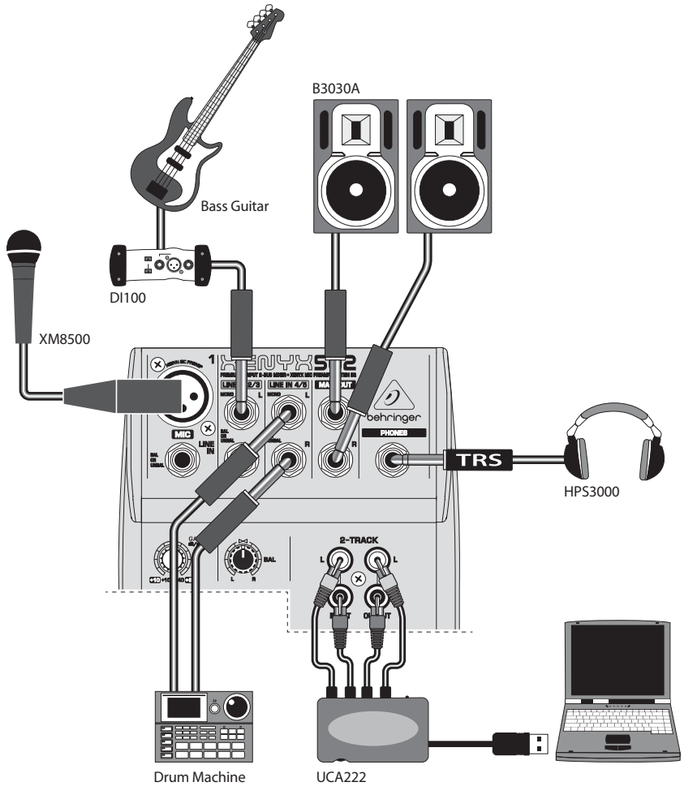
限定保証

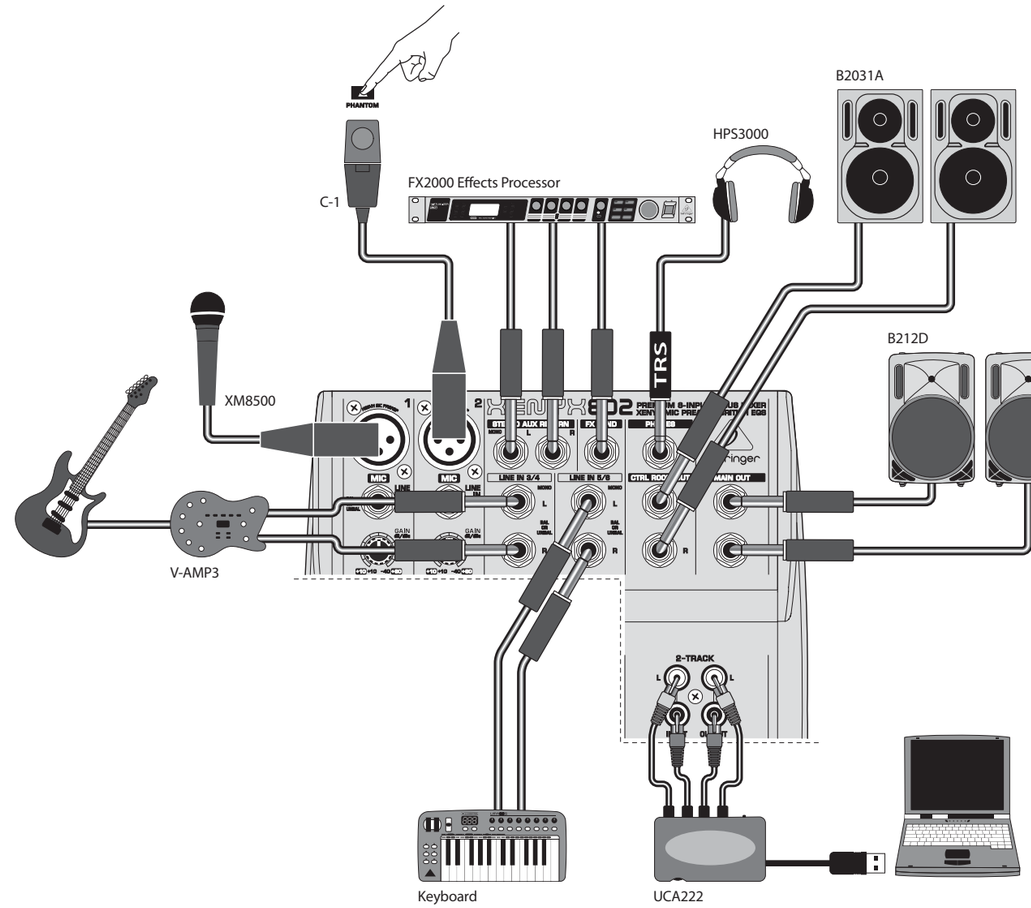
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

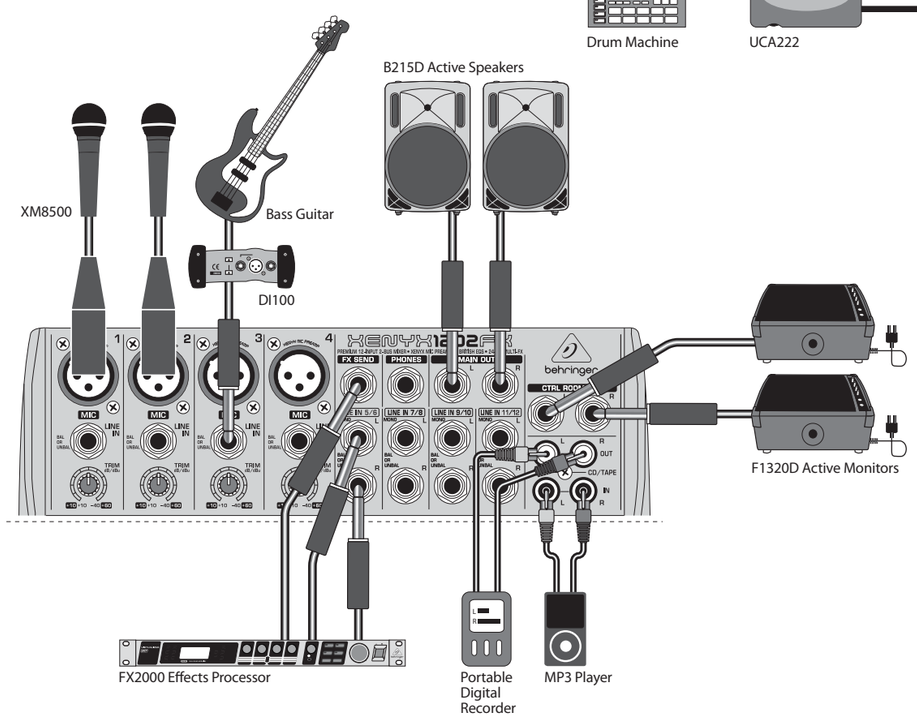
JP

XENYX 1202/1002/802/502 フックアップ

ステップ 1: フックアップ

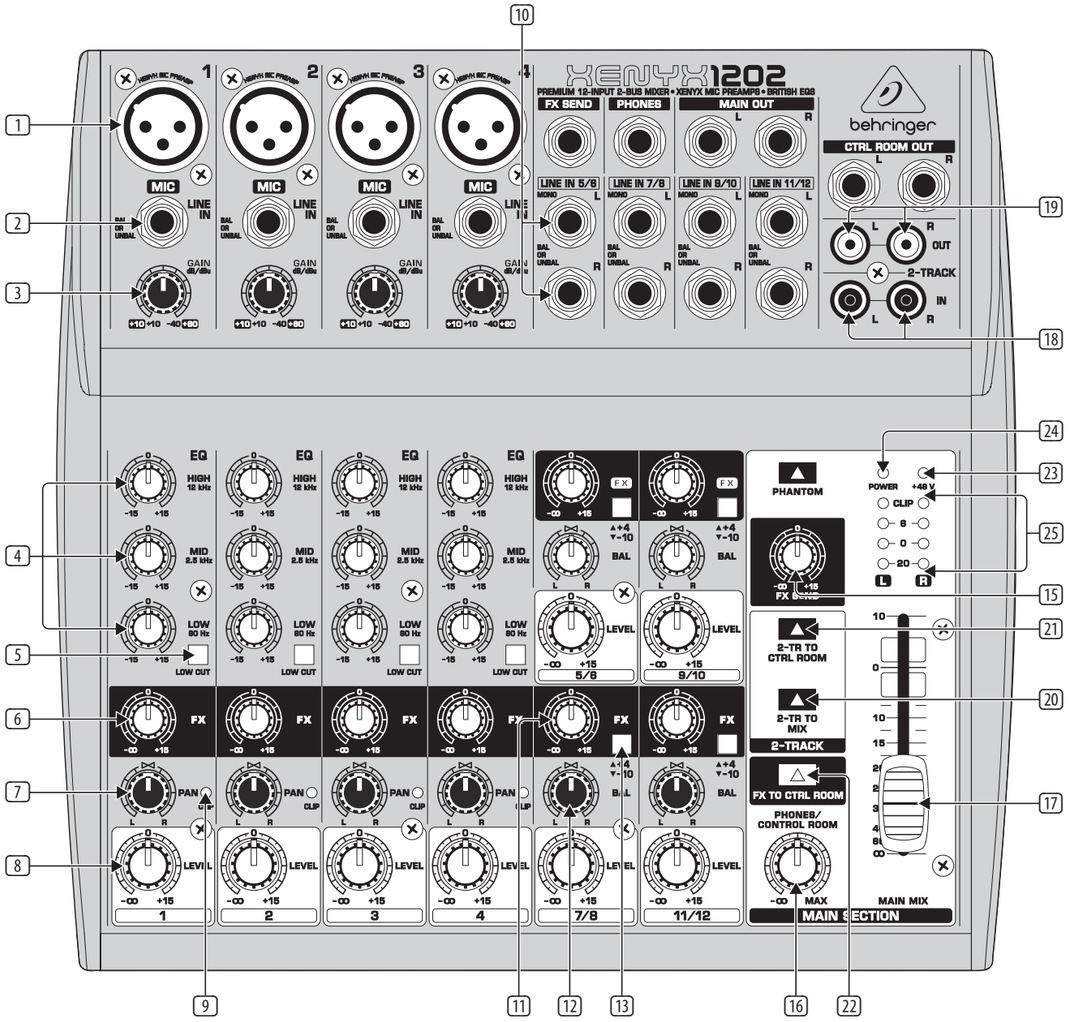


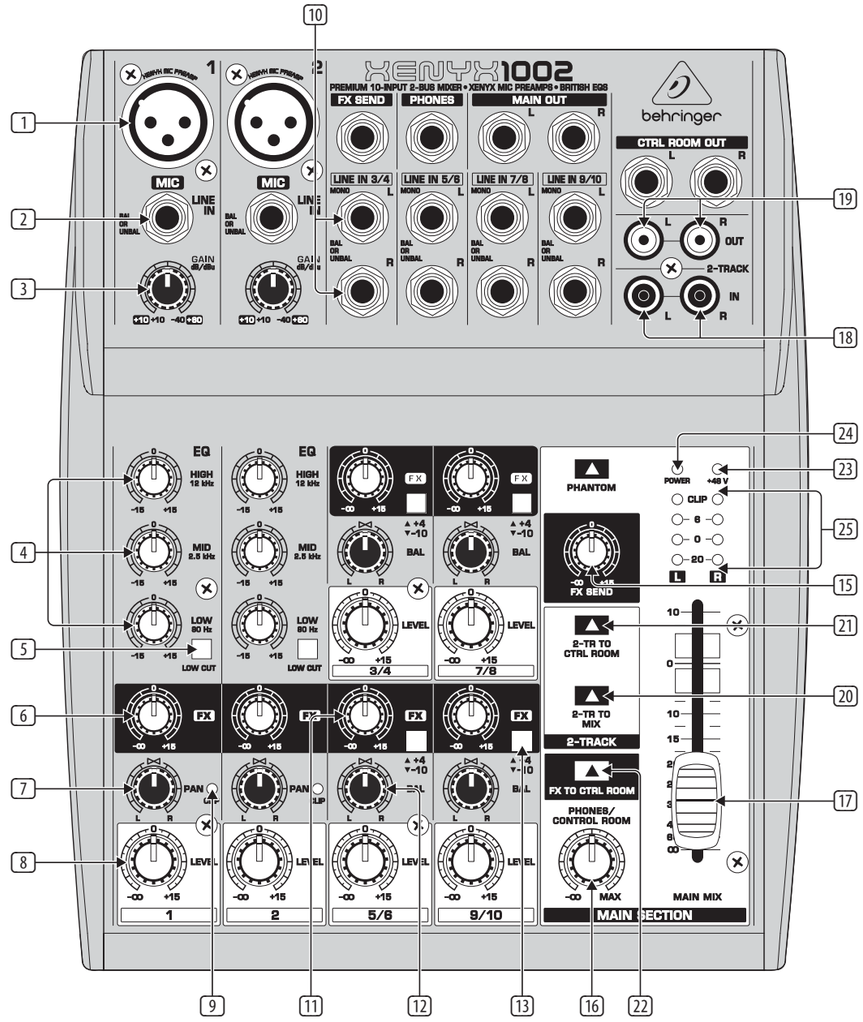




JP

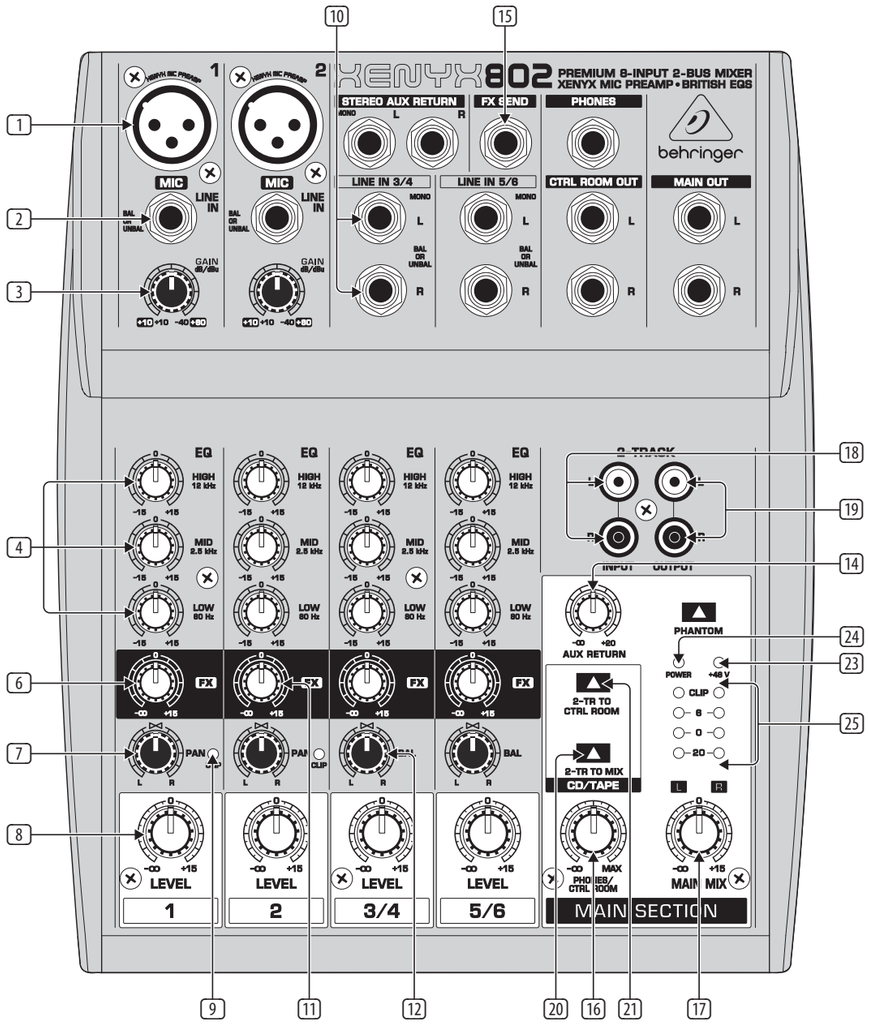
XENYX 1202/1002/802/502 コントロール

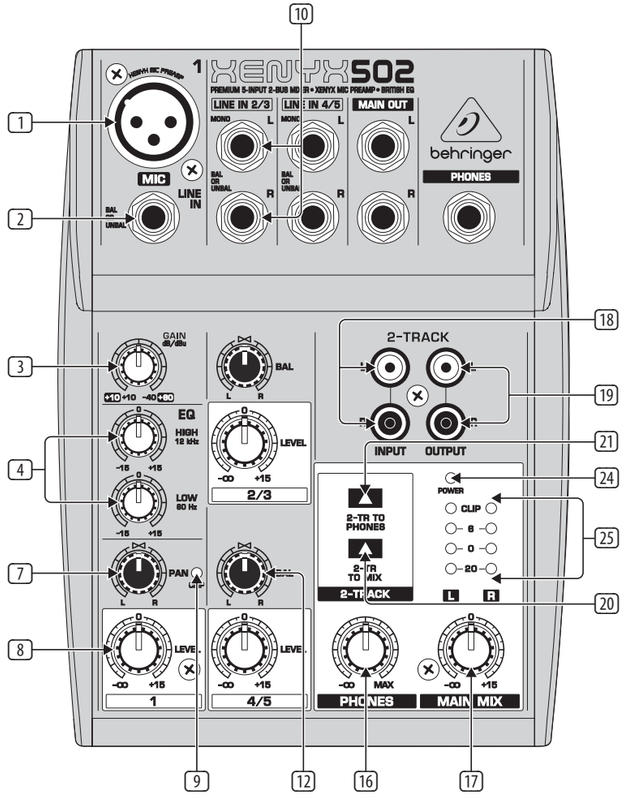




JP

XENYX 1202/1002/802/502 コントロール





XENYX 1202/1002/802/502 コントロール

ステップ 2: コントロール

この章ではこのミキサーの多彩な操作部について説明し、各コントローラー、スイッチおよび接続端子についての詳細説明を得られます。

① **MIC** – それぞれのモノ入力チャンネルは XLR コネクターを使用してバランス型マイクロフォンを接続できます。そしてまた、スイッチの切り替えによりコンデンサーマイク用 +48 V ファントム電源も供給できます。XENYX のプリアンプは、外部の高価なプリアンプでしか実現できない類稀な低歪、低ゲインノイズを提供できます。

② **LINE IN** – モノラル入力にはさらに 6.3 mm フォンジャックによるバランス型ライン入力端子が装備されています。これらの入力端子にはアンバランス型プラグ (モノラルジャック) を接続することも可能です。マイク入力およびライン入力の両チャンネルの同時使用は絶対にお避けください。

③ **GAIN** – GAIN ポットは入力信号増幅の設定に使用します。信号源をいずれかの入力端子に接続したり、そこから切り離したりする際には、必ずこのコントローラーを左端まで回転させてください。

④ **EQUALIZER** – 全モノラル入力チャンネルには 3 バンド (502 は 2 バンド)・サウンドコントローラーが装備されています。各バンドごとに最高 15 dB の高低調整が可能です。各バンドを真中に設定するとイコライザーはニュートラルとなります。

⑤ **LOW CUT** – さらにモノラルチャンネル (1002 および 1202) には傾斜の強い LO CUT フィルター (18 dB / オクターブ、75 Hz 時 -3 dB) が装備されており、好ましくない低域周波数信号を削除することができます。

⑥ **FX (802/1002/1202 only)** – FX センド経路 (または AUX センド経路) により、単数および複数のチャンネルから信号を取り出したり、一本の回路上 (バス) に集積したりすることが可能です。この際、FX センドジャックから信号を操作することができます (外部機器からエフェクト効果をかける等)。リターン経路としては AUX リターンジャック (802) および通常のチャンネル経路をご使用いただけます。各 FX センド経路はモノラル出力となっており、+15 dB までの増幅が可能です。502 には FX センド経路はついていません。

⑦ **PAN** – PAN コントローラーにより、ステレオ領域内におけるチャンネル信号の位置を設定します。コンスタント・パワー特性を有するこの機構では、ステレオパノラマ内の信号位置に関係なくレベル量を一定に保つことが可能です。

⑧ **LEVEL** – LEVEL コントローラーにより、メインミックス内のチャンネル信号のレベルを設定します。

⑨ **CLIP** – 入力信号が高くなりすぎると、モノラルチャンネルの PEAK-LED 表示が点灯します。この場合には、GAIN コントローラーを使用し、LED ランプが消えるまで前置増幅を下げてください。

⑩ **LINE IN** – 各ステレオチャンネルには、左右チャンネルの各フォンジャックにバランス型ラインレベル入力が 2 つずつ装備されています。チャンネルをモノラル使用する際には、「 L 」ジャックのみを使います。ステレオチャンネルは典型的なラインレベル信号用に構成されています。両方のジャックにはアンバランス型プラグを接続することも可能です。

⑪ **FX** – ステレオチャンネルの FX センド経路はモノラルチャンネルと同様の機能を有します。両方の FX センド経路はモノラル方式となっているため、信号が一つのモノラル出力としてミックスされてから FX バス (一本の回路) へ送られます。

⑫ **BAL** – チャンネルのステレオ出力をおこなう際には、左右の入力信号が左または右のメインミックスバスへ出力される前の、相対的な左右入力信号の割合を BAL (バランス) コントローラーで調節します。左側のライン入力によりチャンネルをモノラルとして使用する場合、このコントローラーはモノラルチャンネルの PAN コントローラーと同様の機能を有します。

⑬ **+4/-10** – XENYX 1002 および 1202 のステレオ入力には、入力レベル調整用スイッチが装備されており、+4 dBu ~ -10 dBV 間の入力感度の切替が可能です。-10 dBV (ホームレコーディングレベル) に設定した場合、+4 dBu (スタジオレベル) の場合に比べて入力感度が高くなります。

⑭ **STEREO AUX RETURN** – 802 の場合のみ: FX コントローラーで作成したエフェクトミックスのリターン経路として STEREO AUX RETURN ジャックが装備されていますので、ここにエフェクト機器の出力信号を接続してください。これらのジャックは追加入力用としても使用できますが、この場合、別のチャンネルを通してエフェクト信号をミキサー内に再度送ることが必要です。このため、チャンネル EQ を使用し、エフェクト信号の周波数帯域を変化させることも可能なのです。左側のジャックのみに接続がおこなわれている場合には、自動的に AUX RETURN はモノラル出力となります。メインミックス内のエフェクト信号の割合設定をおこなうには、AUX RET (AUX リターン) コントローラーを使用してください。

⑮ **FX SEND** – 入力チャンネルの FX コントローラー (502 を除く) から引き出したポストフェーダー FX 信号が FX SEND ジャックに流れますので、ここにエフェクト機器入力を接続してください。FX SEND ジャックのレベル調整はメインセクションの FX SEND コントローラーでおこなえます (1002 および 1202 のみ)。

⑯ **PHONES/CONTROL ROOM** – PHONES 接続端子 (上記接続フィールド参照) はステレオフォンジャックとして装備されていますので、ここにヘッドフォンを接続してください。CONTROL ROOM OUT ジャック (アンバランス型フォンジャック) を使用し、信号を総体的 (エフェクトミックスおよびメインミックス) もしくは個別にコントロールすることが可能です。PHONES/CONTROL ROOM コントローラーにより、両方の出力レベルを設定することができます。CONTROL ROOM OUT ジャックは 502 には装備されていません。

⑰ **MAIN MIX** – MAIN OUT ジャックはモノラルフォンジャックとしてアンバランス型に装備されています。ここでのメインミックス総体信号のレベルはおよそ 0 dBu となっています。MAIN MIX フェーダーにより出力音量を設定することが可能です。また出力音量設定用として、XENYX 502 および 802 にはコントロールダイヤルが装備されています。

⑱ **2-TRACK INPUT** – 2-TRACK INPUT ジャックには、CD プレーヤーやテープデッキなどの外部信号源を接続します。もう 1 機の XENYX や当社の ULTRALINK PRO MX882 などからの出力信号をこれらのジャックに接続し、ステレオライン入力として使用することも可能です。

⑲ **2-TRACK OUTPUT** – これらの接続端子は MAIN OUT と平行に配線されており、ステレオ総体をアンバランス出力することを可能としていますので、ここにレコーディング機器入力を接続してください。出力レベルの設定には、高精密 MAIN MIX フェーダーおよび MAIN MIX コントロールダイヤルを使用します。

⑳ **2-TR TO MIX** – 2-TR TO MIX スイッチを押すと、メインミックス内の 2 トラック入力が起動し、追加入力 (バンド挿入、MIDI 楽器およびさらに加工する必要のないその他の信号源用) として使用することが可能となります。

㉑ **2-TR TO CTRL ROOM** – モニター出力上 (CTRL ROOM OUT) で 2 トラック入力を聞きたい場合には、2-TR CTRL ROOM スイッチを押すと、モニタースピーカーやヘッドフォンによるバックバンドのチェックが簡単になります。

㉒ **FX TO CTRL ROOM** – ヘッドフォンおよびモニタースピーカーを使用し、FX センド信号のみをモニタリングする場合には FX TO CTRL R スイッチを押してください。これによりメインミックス信号の音量が切られ、FX SEND 出力信号のみがモニタリングできるようになります。XENYX 502 および 802 にはこのスイッチが装備されていません。

㉓ **+48 V** – PHANTOM スイッチにより、モノラルチャンネルの XLR ジャックへのファントム電源供給機能を起動させます。この機能はコンデンサーマイクを使用する際に必要となります。この機能が起動されると、赤色の +48 V LED ランプが点灯します。通常はダイナミックマイク (バランス型) のご使用も可能です。不明点に関してはマイクの各製造元にお問い合わせください。

㉔ **POWER** – 青色の POWER LED 表示は機器の電源投入を示します。

㉕ **LEVEL INDICATOR** – 高精確 4 セグメント・レベル表示により、表示信号の強弱が常時正確にご覧いただけます。

XENYX 1202/1002/802/502 レベル設定

ステップ 3: レベル設定

レベル調整: レベルを入れる際には、入力チャンネルの LEVEL コントローラーを中位置 (0 dB) に設定し、GAIN コントローラーで入力増幅を 0 dB に上げてください。

デジタルレコーダーを使用してレコーディングをおこなう際には、レコーダーのピークメーターが 0 dB を超過しないようにしてください。アナログ方式の場合とは異なり、デジタル方式でレコーディングおこなった場合、微小かつ突発的な過入力も耳障りなデジタル歪み発生の原因となります。XENYX に装備されているピークメーターは、ほぼ周波数依存性なくレベルを表示します。信号全種に対してレコーディングレベルを 0 dB とすることが推奨されます。

JP

技術仕様

	1202	1002	802	502
モノラル入力				
マイク入力（XENYX マイクプリアンプ）				
タイプ	XLR コネクター、電子平衡型ディスクリート入力回路			
マイクEIN（20 Hz～20 kHz）				
@ 0 Ω ソース抵抗	-134 dB / 135.7 dB A 加重			
@ 50 Ω ソース抵抗	-131 dB / 133.3 dBA 加重			
@ 150 Ω ソース抵抗	-129 dB / 130.5 dBA 加重			
周波数応答				
<10 Hz - 150 kHz	-1 dB			
<10 Hz - 200 kHz	-3 dB			
ゲイン範囲	+10 dB～＋60 dB			
最大 入力レベル	+12 dBu @＋10 dB ゲイン			
インピーダンス	約 2.6 kΩ バランス			
信号対雑音比	110 dB / 112 dB A 加重（0 dBu In @ +22 dB GAIN）			
歪み（THD＋N）	0.005% / 0.004% A 加重			
ライン入力				
タイプ	¼" TRS ジャック、電子バランス			
インピーダンス	約 バランスの取れた 20 kΩ、約 10 kΩ 不平衡			
ゲイン範囲	-10 dB～ +40 dB			
最大 入力レベル	+22 dBu @ 0 dB ゲイン			
フェードアウト減衰（クロストーク減衰）				
メインフェーダーが閉じています	90 dB			
チャンネルがミュートされました	89.5 dB			
チャンネルフェーダーがミュートされました	89 dB			
周波数応答（マイク入力～メイン出力）				
<10 Hz - 90 kHz	+0 dB / -1 dB			
<10 Hz - 160 kHz	+0 dB / -3 dB			
ステレオ入力				
タイプ	¼" TRS ジャック、電子バランス			
インピーダンス	約 20 kΩ			
最大 入力レベル	+22 dBu			
イコライザ				
EQ				
LOW	80 Hz / ±15 dB			
MID	2.5 kHz / ±15 dB			
高い	12 kHz / ±15 dB			
送信/返信				
補助送信				
タイプ	¼" TS ジャック、アンバランス			
インピーダンス	約 120 Ω			
最大 出力レベル	+22 dBu			
ステレオ補助リターン				
タイプ	¼" TRS ジャック、電子バランス			
インピーダンス	約 20 kΩ バランス/約 10 kΩ 不平衡			
最大 入力レベル	+22 dBu			

	1202	1002	802	502
出力				
主な出力				
タイプ	¼" TRS ジャック、アンバランス			
インピーダンス	約 120 Ω 不平衡			
最大 出力レベル	+22 dBu			
制御室の出力				
タイプ	¼" TS ジャック、アンバランス			
インピーダンス	約 120 Ω			
最大 出力レベル	+22 dBu			
ヘッドフォン出力				
タイプ	¼" TRS ジャック、アンバランス			
最大 出力レベル	+19 dBu / 150 Ω（+25 dBm）			
メインミックスシステムデータ（ノイズ）				
メインミックス@-∞、チャンネルフェーダー@-∞	-106 dB / -109 dBA 加重			
メインミックス @ 0 dB、チャンネルフェーダー@-∞	-95 dB / -98 dBA 加重			
メインミックス @ 0 dB、チャンネルフェーダー@ 0 dB	-84 dB / -87 dBA 加重			
電源				
消費電力	20 W	13 W	13 W	13 W
アメリカ/カナダ				
アダプタ	Behringer PSU MX5UL	Behringer PSU MX3UL	Behringer PSU MX3UL	Behringer PSU MX3UL
主電源電圧	120 V～、60 Hz			
ヨーロッパ/イギリス/オーストラリア				
アダプタ	Behringer PSU MX5EU	Behringer PSU MX3EU	Behringer PSU MX3EU	Behringer PSU MX3EU
主電源電圧	230 V～、50 Hz			
中国				
アダプタ	Behringer PSU MX5CC	Behringer PSU MX3CC	Behringer PSU MX3CC	Behringer PSU MX3CC
入力	220 V～50 Hz; 150 mA	220 V～50 Hz; 80 mA	220 V～50 Hz; 80 mA	220 V～50 Hz; 80 mA
出力	2 x 17.5 V～、2 x 650 mA	2 x 18.5 V～、2 x 150 mA	2 x 18.5 V、2 x 150 mA	2 x 18.5 V、2 x 150 mA
韓国				
アダプタ	Behringer PSU MX5KR	Behringer PSU MX3KR	Behringer PSU MX3KR	Behringer PSU MX3KR
主電源電圧	220 V～、60 Hz			
日本				
アダプタ	Behringer PSU MX5JP	Behringer PSU MX3JP	Behringer PSU MX3JP	Behringer PSU MX3JP
主電源電圧	100 V～、50/60 Hz			
物理的/重量				
寸法（H x W x D）	1.9 x 9.5 x 8.7" 47 x 220 x 242 mm	1.9 x 7.4 x 8.7" 47 x 189 x 220 mm	1.9 x 7.4 x 8.7" 47 x 189 x 220 mm	1.9 x 5.3 x 7" 47 x 134 x 177 mm
重量（正味	4.8 ポンド / 2.2 kg	3.5 ポンド / 1.6 kg	3.5 ポンド / 1.6 kg	2.6 ポンド / 1.2 kg

その他の重要な情報

JP

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You

behringer